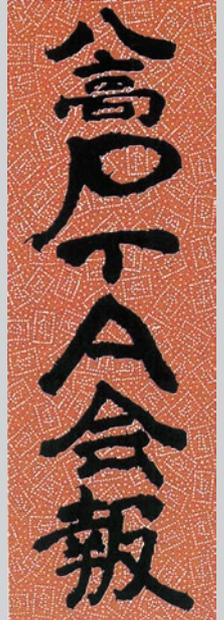


# 卒業おめでとう!

～先生方からメッセージ～



3-1



編集発行  
愛媛県立八幡浜高等学校  
P T A 広 報 委 員 会



## 自分をデザインしよう!

校長 菊池 博喜

卒業おめでとうございます。それぞれの夢に向け、羽ばたこうとしている皆さんに「自分デザイン」という言葉を贈ります。表面を着飾るだけ、狭義なデザインの捉え方と異なります。成功よりも成長を楽しみましょう。なりたい自分を追いかける努力を惜しまないでください。学びは卒業してからも続きます。どうぞせなら、学びを楽しくデザインしてみましよう。皆さん一人一人が、より豊かな人生を歩まれることを祈念しています。



3-2



## 好き以上得意未満、 どんな夢もそこがスタート

教頭 太古 俊男

「八高は楽しかった。」という言葉をよく聞きます。しかし、過去を振り返る感覚を早く払拭してほしいと思います。過去の出来事が現在を作り出しているのではなく、目的を達成するために今の状況を作り出しているのは私と思うからです。「将来の夢」「なりたい自分」という目標に向けて自分の道を進んでください。時に不安に思うことがあるかもしれませんが、そんなときは選んだ選択が正しかったのかどうかを考えるのではなく、自らの選択が正解となるよう取り組んでください。ガンバレ、八高ファミリィ!



3-3



には分からないかもしれないが、人は大人になるに従って、新鮮なドキドキワクワクは少なくなり、経験と知識が増えていき、そして責任と義務が増えていくほど、「面白き事も無き世」になっていくものなのだろう。そして、たぶん、君たちの人生も、勝負は「世の中」が「面白くなくなつて」からである。君たち自身の「力」が必要だ。それは、知識であったり、

**面白き 事も無き世を 面白く**

勤王の志士、高杉晋作の辞世の句である。  
この句の通り、人生はあまり「面白き事も無き世」なのかもしれない。また青年期の君たちには、

経験であったり、体力であったり、そして何よりも感性であったりするだろう。そしてその「力」を新しい「挑戦」の源とするとき、君たちの人生は、新しい発見とドキドキワクワクに満ちた「面白い」ものとなるだろう。だから、社会に出るまでの「面白い」ものとなるだろう。出た後の最初の数年、自分の人生を「面白く」するための「力」を、しっかりと付けてほしい。その基礎となる「土台」は、この高校三年間でしっかりと身に付けているはずだ。その「土台」の上に、君たちの人生のそれを願っている。「花」を、咲かせることを願っている。卒業おめでとう。俺はお前たちに会えて、本当に面白かった。ありがとう。

三年主任 北岡 毅司



3-4



3-5

**文化講演会**

八幡浜高校出身で、野球の元審判員である松田貴士様をお招きし、「Control What You Can Control」をテーマに講演していただきました。文化の違いから生まれる葛藤や、審判員としての信頼性について、当時の経験を交えながらお話いただきました。「運は単なる機会ではなく、準備を怠らなければ運もコントロールできる」という言葉を胸に、小さなきっかけから夢を見つけ、それを全力で追いかけていこうと思えました。これからの生活の活力となる充実した時間になりました。

**大満足のやきそば**

兵頭 麻季



十月中旬、我々本部役員にとつてメインのお役目である「文化祭での焼きそば作り」に向けて準備が始まりました。まず、前回開始早々に完売してしまつた反省を活かし今年を作る数を七十パック増やしました。昨年より一割多いのですが、売れ残りを出したくない我々にとつて勇気ある決断です。必ず売り切るぞと闘志を燃やします。そして、美味しく食べていただくためにほんの少しだけ野菜を増やしました。価格高騰が騒がれる中こちらも思い切つた決断ですが、増やすのは庶民の味方のもやし。歯ごたえよくボリュームも増し、(多分)ヘルシーといい事ばかり。こちらは生先生によるナイス提案です。

前日準備は歴代役員さんが残してくれたありがたい資料と大勢の保護者等の方の御協力です。スムーズに終わることができました。幸先良いスタートに、胸は高まります。そして迎えた当日はなんと！台風直撃による大荒れの天候です！強風に舞う青のりや、吹き込む雨から完成品を守る皆様の姿が気になります。私に出来ることはひたすら焼くこと！汗だくで作業に集中します。終わつて気付けばチケットは完売。皆で食べた焼きそばはおいしく、大変でしたが大満足の一日となりました。打ち上げて飲んだビールは最高でした……！最後にになりましたが、お手伝いで御参加くださった皆様、ありがとうございました。来年もできれば……できれば御参加いただける、とてもうれしいです！





# 文化祭

11月2日(土)





# ありがとう

コーラス部 山下 知枝  
保護者

初めて文化祭でコーラス部の歌声を聴いたときに「四人でこんなに届けられるの!？」と驚き、感動したことを覚えています。友だちや演邊先生に声をかけていたが、すぐに馴染み、部活動での何気ない日々の出来事を楽しそうに話す娘を見ながら友だちや先生との縁に恵まれていたことをありがたく思っています。また、いつでもどこでも歌を口ずさむ姿に、生活の中に音



楽があるということが、こんなに心を豊かにさせてくれるんだなと気付かせてもらいました。コーラス部のきれいで澄んだ歌声が大好きで聴くといつもパワーをもらってました。楽しそうに仲間と歌い合えるのも、歌う楽しさを教えてくださった演邊先生のおかげです。ありがとう。素敵な歌声をたくさんの人へ届けてください。皆さんの歌声はすごい力を持っていますから……

# 自然科学部に入学して

自然科学部 菅原 利恵  
保護者

「部活、自然科学部に決めたんやけど。」「どんなことするのよ?」「分からんけど面白そうかも……。」と入学当時になんか話をした記憶がありません。同じ中学校から進学した友人も、部活動という場所でも仲間ができるのか不安もありました。文化祭が近づくと先輩たちとミーティングをし、先輩制作に必要な素材を山や海に探しに行ったりと準備で生き生きとした姿を見てホッとしました。活動は、文化祭や科学の祭典での製作を通して地域の方々と

子供たちと接し、八幡浜で交流する楽しさを学びました。翌年には多くの頼もしい後輩もでき、安心して部活動を任せ引退することができました。自然科学部は身近な自然に目を向け、実験・観察・ものづくりに取り組むことが出来ます。やりたいことが見つければ先生も力を貸してくれると思います。最後になりましたが、御指導していただいた先生方、ともに活動したくださった部員の皆様、大変お世話になりました。これからの自然科学部を盛り立てていってください。



# 思い出を写す

写真部 芝田 晶子  
保護者

娘は小学生の頃から、写真を撮られるより撮る方が好きで、よく友達や庭に来る野鳥を小さくデジタルで撮影してました。中学では卓球部に所属していましたが、高校で写真部に入るといったことは早くから決めていたようでした。写真部に入った力メラを購入しました。学

校行事の時はもちろんのこと、それ以外の時もよくカメラを持ち歩き、クラスメイトの写真などたくさん撮影してました。写真撮るのが好きという趣味的な部分も、自分の役割を果たす、人に喜んでもらいたいのという気持ちが大きかったのではないかと思います。部長になってからは、自分で考えた行動することや責任感が増えたように思います。部活動で得た様々な経験が、彼女を大きく成長させてくれたようでした。最後に先生方、部員の皆さん、三年間本当にありがとうございました。写真部がこれからも応援しています。



# 素敵な宝物

書道部 矢野 幸子  
保護者

小中学校の夏休みや冬休みの宿題の中で一番頭を悩ませていたのが、書道部でした。初めて作品を出すと聞いた時は、不安で書いていたのだから、言えない中、一生懸命書いたんだらうなと感じています。そして、何より八幡浜自動車道の開通で橋の名前を書く機会がたまりました。自分たちの書いた目にするのが、道を通るたびに、素敵な思い出ができました。開通前に見学させてもらったり、橋名板のレプリカをいただき感謝の気持ちでいっぱいです。最後に忙しい中熱心に指導してくださった勝川先生、たくさん部員のみなさん、三年間本当にありがとうございました。



### 最響メンバーと共に

吹奏楽部  
保護者 菊池 治子



娘は、中学校から吹奏楽部でずっとパーカッションパートを頑張ってきました。一曲の中でもたくさんの打楽器を扱い、ステージ上を何度も移動することもあり、最初の頃は楽譜やパチを落としたり、転んだり見えないかとドキドキしながら見ていました。そんな娘の演奏を見る度に、毎回すごく成長を感じ、仲間と心ひとつに演奏している姿には、いつも感動させられてばかりでした。部長になつてからは、なかなか思うようにいかず悩む姿に心配することもありましたが、「こんな吹部にしたい。」「自分たちらしい最響サウンドを奏でたい。」と強い思いを持って、全力で頑張っていました。勉強と部活動の両立は忙しく、すごく大変だったと思います。しかし、頼れる先輩や慕ってくる後輩、そして個性的な同級生に囲まれて、大好きな吹奏楽を続けることができ、充実した日々を過ごせたことを嬉しく思っています。

### 華道の学びを心の礎に

日本文化(華道)部  
保護者 山下 裕子



今、草花を生ける娘の姿を見つめながら、駆け足で過ぎていった子育ての思い出たちを手繰り寄せます。春には色とりどりのチューリップに魅せられて、夏休みには朝顔の押し花を作成。秋には秋桜の中でかくれんぼ。そして冬、厳寒の頃に凜と咲き誇る梅の花は、春の訪れを待つかのごとく清らかな香りで私たちを包んでくれました。毎年四季折々の草花に刺激をいただきながら大きく育ってきたように思います。心の拠り所は華道の時間であり、高校で仲間とともに学ぶことができた日々は宝物です。先生方の温

最響メンバーと共に奏でた、たくさん曲はこれからも良き経験良き思い出として、ずっと心の支えとなつてくれるはずです。ここで得たかけがえのないものをこれからも大切に歩んでいきたいです。これまでも御指導いただいた先生方、応援してくださいました保護者等の皆様、関わってくださいました全ての方に感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございます。

### 美術部に感謝

美術部  
保護者 戸田 典央



幼い頃から絵を描くことが大好きだった娘は、憧れの美術部に入部しました。初めての油絵の絵の具に苦戦しながら描き上げた作品に、達成感とともに向上心が芽生えて次の作品への原動力になりました。市展や文化祭では、部員の個性あふれる作品に感銘を受けました。「素晴らしい作品に」と保護者等の方々や友人たちに声をかけてもらい、娘たちはとても励みになりました。コロナ禍で活動が制限された時期もありましたが、八幡神社から辰年の絵馬を依頼されて仲間たちと描き上げたことは大切な思い出の一つとなりました。

かな御指導の下、草花から伝わるものをまっすぐに感じ取り、部員一人ひとりが想いを馳せながら唯一無二の生け花を表現することができたのではないかと思います。高校生活を終え、娘は夢を追って私の元を巣立っていきます。そんな節目の年に祖母がしだれ桜を植樹しました。この記念樹とともに娘のことをそっと見守っていかうと思えます。

### 文芸・新聞部よ、未来永劫に

文芸・新聞部  
保護者 市尾 香



二〇二三年、文化祭。『はなかげ』の購読。娘にどれを書いたのか一応訊く。「知らん。」そんな秘密主義の娘なので、詳しい活動の様子は謎です。しかし、八高新聞制作での先輩のテキパキした段取りや取材の話今年度の『はなかげ』の編集・製作では、後輩が大活躍した話は聞くことができました。また新聞や文芸部誌を読んだ人から感想をもらえたことも励みになったようです。それから、高校生直木賞の選考では全国の文芸部員との討論に苦戦したことも。顧問の松岡先生、前顧問の都築先生、関わってくださいました先生方、ありがとうございます。部

最後になりますが、井上泰利先生には優しく見守っていただき感謝しております。娘と一緒に切磋琢磨してくれた友人や後輩の皆さん、ありがとうございます。

### 放送部に入部して

放送部  
保護者 西谷 鈴美



いろいろなと迷い悩んだ結果、本人が選んだのは放送部でした。友達と楽しく活動をしたという思いで選んだようです。NHK杯放送コンテストや高文祭での全国大会出場を目標に頑張っている。自分では残念ながらその目標を果たせませんが、仲間や先輩の全国大会出場を自分事のように誇らしそうに話す姿を見て、素晴らしい仲間と共に充実した活動ができていたことを私もうれしく思いました。また、サマーフェスタの司会や体育祭のアナウンスでは、今まで見たことのない意外な一面を知ることができました。最後にになりましたが、御指導・引率していただいた先生方、一緒に活動していただいた部員の皆さん、本当にありがとうございました。放送部の更なる活躍を娘と共に応援しています。

員数の減少を心配する娘に頼まれたわけではないのですが、この紙面をお借りして最後に一言。在校生の皆さん、兼部も可能だそうですので、文芸・新聞部で言葉での表現を楽しんでみませんか。

# 関東班

スカイツリー  
 浅草・雷門・仲見世  
 横浜中華街・みなとみらい21  
 シンフォニークルーズ  
 劇団四季  
 東京ディズニーリゾート  
 上野公園  
 お台場



# 修学旅行



# 台湾班

中正紀念堂  
 台北101展望台  
 十份  
 九份  
 士林夜市  
 『台北市立成功高級中學』との学校交流  
 忠烈祠  
 故宮博物院



# 北海道班

箱根牧場  
 ニセコ  
 尻別川ラフティング  
 小樽  
 サッポロビール園  
 ウポポイ(国立アイヌ民族博物館)  
 札幌  
 羊ヶ丘展望台  
 ノーザンホースパーク



### インターハイに出場して

陸上競技部 三年 笹本 羽奈

私は、七月二十八日から八月一日にかけて福岡で開催された、全国高等学校陸上競技対校選手権大会に出場しました。春に一年生を迎えた新しいリレーメンバーでこの大会に努力を重ねてきました。会場では、全国の雰囲気や空気を感じながら大会当日まで調整をしてレースに臨みました。私は二走で走りました。有名選手や自分より圧倒的にタイムの速い選手が隣のレーンにいてとても緊張しましたが、キャプテンとしてチームに貢献できる走りをすることを目標にして三走にバトンをつなぎました。完璧と

### 全国高等学校弓道選抜大会に出場して

弓道部 二年 上田 伊吹

私は、十二月に三重県で開催された、全国高等学校弓道選抜大会の男子個人戦に出場しました。全国出場が決まった時は、なかなか実感が湧きませんでした。愛媛県の代表として出場することには、喜びとプレッシャーがありました。実際に大会では、普段とは異なる会場の雰囲気から、緊張が高まりました。競技中は、緊張やプレッシャーを感じつつも、弓道の楽しさを味わうことができました。結果は予選敗退で、準決勝へ進出することはできませんでしたが、大きな舞台で弓を引くことができる貴



重な体験で、自分らしい射をすることができました。この大会を通じて、自分の実力や課題を改めて実感しました。普段味わうことのできない緊張感や、他の選手の姿は、自分にとって大きな刺激となりました。この大会を糧に、これからも日々の練習に励み、さらに成長していきたいと思えます。応援してくださいました皆様、本当にありがとうございました。



いえる走りはずっと悔しい結果となりましたが、勝負の世界の厳しさを痛感し、もう一度全国でチャレンジしたいという気持ちを持つことが出来ました。陸上競技を始めて県内外の友人や指導者の方々と出会うことができ、自分の走る力だけでなく人間力も磨くことができました。大学でも陸上競技を続けていくので、更

### ロボットアイデア甲子園に参加して

二年 酒井 花音

私は、十二月七日にロボットアイデア甲子園の全国大会に出場し、優秀賞とワールドインテック賞を受賞することができました。夏休みからずっと考えていた、飼育員支援ロボット「あにまもる」と全国の舞台に立つことができ、嬉しかったです。本番までの間、資料がなかなか完成しなかったり、緊張したりしましたが、周りの皆さんがサポートしてくださったおかげで乗り越えることができました。改めて人の優しさに感謝する機会となりました。また、全国のロボットが大好きな学生さんたち

ちと友達になれたことも貴重な経験となりました。この大会を通して、たくさんの知らなかったことと出会い、自分の中で世界が広がったような気がします。今回培った柔軟性や人前で話す力を、今後の生活にも活かしていきたいです。支えてくださった先生方、応援してくれた家族や友達に感謝の気持ちです。本当にありがとうございました。



### インディアナ大学での

海外研修に参加して

二年 三好 祐悟

八月六日から十一日の五日間、「四国型次世代科学技術チャレンジプログラム(SHINGS)」の研究活動の一環としてアメリカ合衆国のインディアナ大学での講義への参加及び私自身の行っている研究活動の発表を行いました。ネイティブの英語で行われる講義や英語での研究成果のプレゼン発表は普段と違い、得られることが多くありました。特に印象的だった講義は日本型教育の海外展開についての講義で、アメリカで行われている日本式の教育の現状を学びました。大学外での生活も比較的自由に過ごすことができ、七人の

仲間たちとともに買い物や食事を楽しみました。飲食店やスーパーなどでの店員と会話のやりとりをしていく中で会話形式の英語や文化について学ぶことができました。今回の研修で経験させていただいたことをきっかけに海外に出て活動することへの興味を持ち文化や自然の違いを感じるいい機会をいただいたと思います。このような貴重な体験を企画してくださった愛媛大学やインディアナ大学の先生方に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。



# 愛媛県大会十八連覇

## リジェネラティブって何？

商業研究部 三年 水田 成香

私たち商業研究部は「八幡浜の地域活性化」を目標に活動しています。今年度は「リジェネラティブアクションって何？」をテーマに、地域の方々の共創(協創)を目指し、ワクワクするようなビジネスチャンスをつかもうと三つの活動に取り組みました。

一つ目は、カップアイスの販売です。昨年のジェラート作りを生かして、四社で一年中食べられる商品を開発し、道の駅やイベントで販売しました。二つ目は、ワークショップの実施です。大島へボランティア活動に行った際に気になった海ごみ問題をもっと多くの人に知ってもらいたいと考え、海ごみの一つの牡蠣パイプを活用したクリスマスオーナメントのワークショップを行いました。老若男女の方々に取り組んでいただき、個性あふれる作品



が出来上がりました。現在は商品化に向けて取り組んでいます。そして三つ目は、メインクラブトカップへの参加です。

大島をテーマにワールドを作りました。この教育版メインクラブトの縁で、水曜日には子ども第三の居場所「あむ」さんと小学生を対象にICCTボランティアを行っています。その内容をまとめ、七月に行われた県大会で、今までの活動を発表し十八連覇することが出来ました。今まで先輩方が作り上げてきた記録を更新することができてとてもうれしかったです。また、私たちは地域の方々や顧問の先生方など、たくさんの方に支えられているということを改めて知るきっかけになりました。

これからも、支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、地域活性化の活動を続けていきたいです。



# 県駅伝十八連覇

## 伝統を繋ぐ

陸上競技部 三年 小野 琴実

十一月三日、先輩方の汗と涙、そして想いのこもった襷が今年も一番で帰ってきました。

今年の選手は例年以上に少ない六人。トラックシーズンで四国大会に進めた選手はゼロ。焦りの上にのしかかる十八連覇へのプレッシャー。不安と恐怖でいっぱいでした。まったくチームの形がで

きません。いまま迎えた夏。このままでは絶対に勝てないと、例年以上に走り込み、朝練習の開始を二十分早くしました。ミーティングを重ね、交換ノートを回し、少しずつみんなの心がつながってきました。プレッシャーだった十七年の伝統は、いつしか私たちの追い風となり、背中を押してくれました。十八連覇を果たしたときの安堵と達成感、そして仲間と流した嬉し涙は一生忘れません。

都大路では、感謝を結果で返すことができず、申し訳なく思っています。後輩たちは、来年またこの都大路という舞台に戻ってこられるよう、これからさらに一年努力を重ね、強い八高を創ってくれたいと思います。



## 編集後記

八高PTA会報八十四号をお読みいただきありがとうございます。この一年も全力で駆け抜けた八高生。子どもたちの頑張る姿は保護者等にとってかけがえのないものです。共に過ごした仲間との思い出を大切に、これからもたくましく歩んでほしいと思います。最後になりますが、快く原稿執筆に御協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

〔広報委員会一同〕